

インフォトラスト

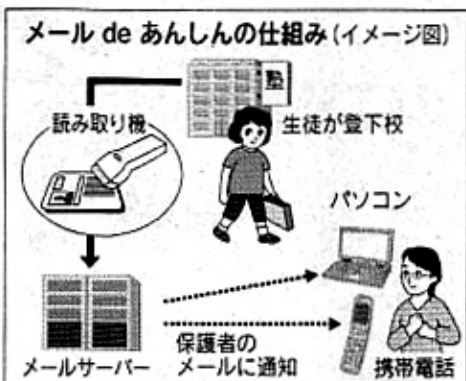
# 学習塾生徒の入退室管理

システム開発 保護者へメール送信

システム開発のインフォトラスト(長野県松本市、浅井工務社長)は学習塾などで生徒が入退室した時間を管理し、保護者に電子メールで知らせるシステムを開発、販売を始めた。保護者が自宅のパソコンや携帯電話で子供の帰宅時間などを把握でき、安全確保につながると見込む。まず長野県を中心に販売し、代理店を募るなどして全国の学習塾に広げる考えだ。

商品名は「メール de あんしん」のバーコード読み取り機(デ)あんしん。専用を、学習塾に設置してあ

## バーコードを活用



と、保護者が登録した電子メールあてに、生徒が入退室した時間が例えば「午後8時30分退出しました」などと送信される仕組み。

学習塾によっては決められた授業時間以外に「居残り学習」をするケースもあり、退出時間を知らせることで、保護者は帰宅が遅れても安心できる。塾通いの小中学生

るネット対応のパソコンに接続する。生徒にはバーコードシールを配布。入退室時に塾の事務員らがバーコードを読み取る

み合わせることで安心感が増す。塾が同社に支払う料金は生徒数が百人以下の場合、月額三千五百円、五百人以下で四千百円。このほか、初期投資としてバーコード読み取り機と

人数分のバーコードシールの購入が必要で、価格は一万二千円。自社で営業するほか、代理店を通じて全国で販売する。スイミングスクールや書道教室など幅広く売

上の導入を目指す。インフォトラストは昨年十二月に設立。インターネット広告やホームページのデザインなどを手掛けている。二〇〇七年二月期は二億円前後の売上高を見込む。